

「大学コンソーシアム岡山」座談会

岡山県内の全15大学が地元経済界、自治体と連携した産学官連合組織「大学コンソーシアム岡山」が4月、発足した。講義を他大学の学生に開放する単位互換制度などで高等教育の充実を図る一方、市民講座や共同研究で大学の「知」を還元し地域活性化を担う。大学コンソーシアム岡山が果たす役割や今後の活動などについて、会長の千葉喬三岡山大学長と、島津義昭岡山県副知事、吉川昌宏岡山経済同友会代表幹事、松畑照一中国学園大副学長の副会長3氏が語った。

(司会・木山博雅山陽新聞社会部長、文中敬称略)



大学コンソーシアム岡山が果たす役割などを語る4氏

地域に「知」還元

大学コンソーシアム岡山参加大学

岡山学院大、川崎医科大、川崎医療福祉大、倉敷芸術科学大、くらしき作陽大

岡山大、岡山商科大、岡山理科大、山陽学園大、就実大、中国学園大、ノートルダム清心女子大

大学コンソーシアム岡山の取り組みの中で、大きな柱の一つが単位互換制度だ。十五大学が用意した科目を、各大学の学生が興味に応じて選択。在籍大学では得る単位として認定される。本年度は多彩な二百四十八科目が並び、又系理系を問わず学ぶことができる内容ばかりだ。

岡山大は「現代日本の政党政治」「気象学」「医学入門」など二十九科目を提供。十一学部を持つ全岡屈指の総合大学の強みを生かし幅広いメ

個性反映、多彩な248科目

単位互換制度

主な単位互換科目

岡山大	地球科学入門、食料と経済、バイオテクノロジー入門、医学入門
岡山県立大	造形文化論、看護教育
岡山理科大	科学技術と人間、環境と社会
就実大	中国文化論、古文書学入門
川崎医療福祉大	睡眠学、生と死
くらしき作陽大	音楽美学、ポピュラー音楽論
吉備国際大	キャリア開発
美作大	食心理学

ニュー」をそろえた。さらに太平洋の国パラオに三泊四日滞在して、イルカと泳いだりカヤックを体験する「海外スポーツ実習」の提供も計画している。

他の大学も多彩。商学部に観光ビジネス専攻を持つ岡山商科大は「観光学概論」、保健福祉学部を持つ岡山県立大は「看護教育」、倉敷芸術科学大は「西洋美術史」をそれぞれ提供。各科目からは、各大学の個性も浮かぶ。

「大学コンソーシアム岡山の狙いと特徴は。千葉 社会は劇的に変化している。技術革新や国際化、少子化。これに大学個々が対応するのは難しい。大学コンソーシアム岡山は、大学と自治体、経済界の三者が一体となり運営するのが大きな特徴だ。産学官が連携し、高等教育の一層の向上を図り地域発展に貢献したい。このコンソーシアムは、いわば岡山の新しい学術文化の「プラットフォーム」。駅に人が集まるように県民がこのコンソーシアムに集い、各目的の方向に向けて動いてほしい。

組織構成は、松畑 代表者会議の下に「大学教育」「社会人教育」「産学官連携」の三事業部を設けている。これまでは、自治体や経済界が大学の取り組みをバックアップする形が主流だった。今後は産学官と民が一体化して進んでいきたい。「大学」と名の付く事業部は「ただけ。大学がいかに、社会人や産官と連携しようとしているかが、組織構成にも現れている。

在籍大学以外の講義も受講できる「単位互換制度」が早速始まった。松畑 二〇〇六年度前期の場合、各大学が計二百四十八科目を開放、約三十人が履修している。コンソーシアム発足を受け、各大学の学生を対象にした共通科目も提供。「キャリア形成講座」「金融知力講座」などの四科目がそろう。さらに集中講義として、パラオでの海外スポーツ実習も計画している。市

千葉氏 新しい学術文化の「駅」に 自立した消費者育てたい 吉川氏

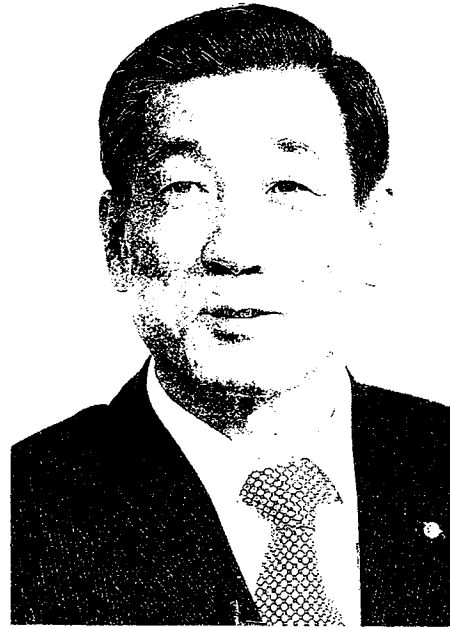


ちば・きょうぞう 1986年、岡山大学学部教授。2005年6月から岡山大学学長。専門は生態系管理学。京都大学大学院 農学研究科修士課程修了。66歳。

民講座として岡山、倉敷、高梁、津山での「シニティカレッジ」も予定している。各大学から二講座ずつ準備してもらおう。

吉川 銀行員が講師を務める「金融知力講座」は岡山経済同友会が協力する。自立した消費者となるように、学生がお金と向き合う力をつけるのが狙い。定員百人に対し、約八十人が参加している。定員を満たしていないが、初の試みなので心配はない。従来の大学カリキュラムから離れる心理的不安が学生にはあるだろうし、コンソーシアム自体がまだ浸透していないからだ。

各大学が足並みをそろえるには、苦



しまず・よしあき 1970年、岡山県入庁。商工労働部長、国体・障害者スポーツ大会局長などを経て、2005年4月から副知事。岡山大法文学部卒。58歳。

県民力結集して人材育成 島津氏

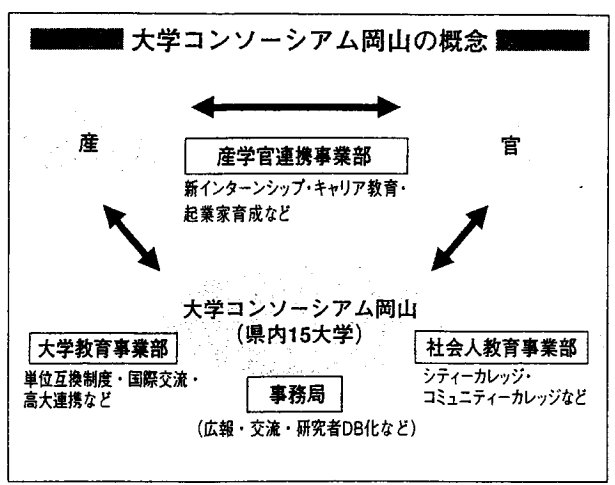
松畑氏 少子高齢化の危機感一致

島津 県が期待するところは、岡山、地方分権が進む中、地域間競争を勝ち抜くには、人材と産業、文化、まちづくりの四つの要素が不可欠。県の「新世紀おこやま夢づくりプラン」でも、人づくりと産業活性化を最重要課題に位置付けており、大学コンソーシアム岡山の立ち上げは時宜を得ていた。行政としては、時代のニーズにあった人材育成と産学官民の協働を期待したい。県民力の結集ができれば、競争に生き残ることができると信じている。

労働者であった。松畑 二〇〇四年十二月の岡山県大学長懇談会から、設立への検討を始めた。十五大学は運営母体や建学精神が異なる。何が連携できるのかとの疑問があった。地理的条件から単位互換制度は可能なのか、との声もあった。大学によっては、理事会や教授会という立場の異なる意見をうまく反映させるのが難しかったようだ。ただ少子高齢化が進む中、協力しないと沈没するとの危機感を持っている点では、各大学とも一致していた。金大学が最初から足並みをそろえてコンソーシアムを設立したのは、全国でも珍しい。

県内唯一の国立立法人である岡山大学の存在意義は何か。千葉 産官と連携する以上、コンソーシアムは公器としての役割を果たさねばならない。唯一の国立立法人である岡山大は特に責任が重い。十一学部ある全岡有数の総合大学だけに、中心的役割を果たしたい。

「大学コンソーシアム岡山」座談会



出席者	
岡山大学長	千葉 喬三氏
岡山県副知事	島津 義昭氏
岡山経済同友会代表幹事	吉川 昌宏氏
中国学園大副学長	松畑 熙一氏

産学官が一体化

京都

大学コンソーシアム京都は一九九四年、「京都・大学センター」の名で誕生した。全国で現在、約四十組織が活動する大学コンソーシアムの中でも先駆的存在。設立の因には、市外への大学流出に危機感を募らせた京都府の事情もあった。京都府は京都大など多くの大学を抱え、その経済効果も大きい。八〇年代後半から有力私立大が市外への学部移転・新設を進めた。対策を迫られた行政は九三年、「大学のまち・京都21プラン」を策定し、大学側も少子化をにらみ学校間連携などの必要性を認識。相互の思惑が一致



まつはた・まさはろ 岡山大副学長などを経て、2005年6月から中国学園大副学長。専門は英語教育学。広島大大学院教育学研究科修士課程修了。66歳。

— 経済界は以前からコンソーシアム設立を望んでいた。

吉川 岡山経済同友会は三年前から構想を練ってきた。各大学の学長や副学長、行政担当者などの勉強会を重ね、先輩格の大学コンソーシアム京都を視察した。経済界はいわば大学コンソーシアム岡山の「火付け役」と「取り持ち役」だと自認している。

千葉 地方分権の時代では、経済力に加えて文化力が結合した「地域力」が必要だ。現在の道州制の議論はその中で語られる必要がある。

吉川 このコンソーシアムの今後の評価が岡山だけで手とまわってしまっている。中四国全域に広がればと思っている。「岡山に住めばこんなに素晴らしい教育が受けられる」との評価が定着し、中四国の大学・高校などのネットワークができれば、岡山に求心力が備わる。そうすれば、道州制議論で中四国州を主張する有力根拠になるのではないかと。

— 大学コンソーシアム岡山の今後の活動は。

千葉 大学教育、社会人教育、産学官連携の三事業部を充実させる。盛りだくさんになり消化不良に陥るより、一つ一つ丁寧に取り組み、各事業部が実績を積み重ねていくことだ。「小さく生んで豊かに育てる」ということだ。大学のために活動する部分もあるが、地域に根差した組織だと思つて、活性化のために各界との情報交換を密にし、連携を深めていく。

松畑 これまでの大学は、どちらかといえば教育・研究を中心とした自己完結型。これからは地域と融合し、新しい地域づくり拠点としての役割も、大学に求められる。私たちはコンソーシアムを通じて、そうした新しい大学像を築く必要がある。例えば、新しい学問として「地域創生学」を体系化させ、地域活性化の方策を考えたり、受験生の通過点になりや

「学生祭典」サポートも

して設立に結びついた。

現在、市内外の約五十大学(短大含む)と京都市、京都府経済同友会などで構成。約五百五十科目が対象の単位互換制度やインターンシップなどを、学生側に提供している。総踊りや模擬店出店などで盛り上げる毎年秋の「京都学生祭典」の支援も行っている。

— ついた京都の取り組みは成功例とされ、大学コンソーシアム岡山も「多くが開店休業状態の中、参考にしたいのは京都」(千葉喬三会長)という。大学コンソーシアム京都の山本慶常任理事は「オール岡山態勢で、学生を社会に送り出し、岡山にエールを送る。」

他地域のコンソーシアム

石川、大分

全国には京都以外にもユニークな取り組みを計画、実施しているコンソーシアムがある。

「大学コンソーシアム石川」は石川県内の大学・短大や高等専門学校、自治体などがすべて参加する学と官の組織で、一九九九年に前身母体が発足した。地域の中心の大学を強く意識する同コンソーシアムが打ち出しているのが、金沢市の活性化を図る「まちなかキャンパス構想」だ。人口約百七万人の石川県は、金沢大など計十九の高等教育機関を持つ。その集積地である金沢市は江戸時代に「天下の書肆」と称され、博物館や資料館も多い。構想では文化施設も学舎と位置付け、今後、市内でのフィールドワークを盛り込んだ科目を設けるといふ。

街活性化や留学生支援

言する研究事業も、二〇〇五年度にスタート。同年度は観光振興や高齢者社会参画など二十四テーマを採択した。

同コンソーシアム事務局は「石川は古くから学問の都、それぞれの高等教育機関が足並みをそろえ、石川で学ぶ魅力を高めたい」と話す。

留学生への支援を目的としたコンソーシアムもある。大分大などが参加する大学コンソーシアムおたふだ。

大分県内の各大学で学ぶ留学生は約二千七百人で、人口比で見ると東京都に次ぐ全国第二位の規模という。「県勢振興のために留学生生活活用」との産学官の考えが一致し〇四年、誕生した。人材情報バンク「アクティブネット」を開発。登録した留学生千二百人が、個人・団体の求めに応じて語学講座や通訳などを引き受ける。生活資金貸与といった経済的サポートも手掛けている。

松畑氏 岡山アピールする学問も 経済と文化結合した力を 千葉氏

すい岡山をアピールするために「岡山に行けばこんな勉強ができる」と思われるようなネットワークづくりも進めたい。

島津 経済界は、岡山に学生を集めるインターンシップ(就業体験)を積極的に進めたい。大学側は研究成果をアピールしてほしい。

吉川 産学官連携はコンソーシアムの「生みの母」であり「育ての親」。岡山経済同友会は今後も、コンソーシアムに組織的にかかわる。自身は副会長を務めているが、同友会教育問題委員会の委員長を送り込んでいる。企画会議事務局にもスタッフを送っている。口と足と手を出し、知恵も出すというわけだ。コンソーシアムへの提供科目も「キャリア形成講座」「金融知力講座」の二つ以外に、今後も増やしたい。教育性や社会性を考



よしかわ・まさひろ 旧運輸省を経て1978年、大本組入社。91年8月副社長。2004年5月から岡山経済同友会代表幹事。京都大大学院工学研究科修士課程修了。63歳。

社会性生かした科目必要 吉川氏

島津氏 生涯学習など積極的関与

— コンソーシアム誕生は岡山県史の新たなページ。官の立場として、どうかかわっていくのか。

島津 民間の活動を支援しコーディネートすることが、これからの行政の基本になる。大学コンソーシアム岡山は産学官が一体となった組織だけに、県の事業ともかわりがない。県としても積極的に関与していきたい。具体的には、産学官共同研究や起業家育成、生涯学習の分野だ。予算面でも、県の補助金を積極的に活用してほしい。

千葉 これだけ多くの大学が集まり、経済界の力強いバックアップを受け、官からも承認を受けた。提供するメニューは無制限である。今後、着実に伸ばしていきたい。

え、地域特性を生かした科目を考えたい。どのような内容が考えられるだろうか。

吉川 個人的には、メディア業界による「言論・報道実務講座」や情報産業界による「情報知的財産管理講座」といった科目を、実務と合わせて提供できればと思う。産学官の共同研究分野では、地域創生学の具現化として「岡山論」の講座が挙げられる。「瀬戸内論」に内容を広げてほしいし、ロシア・太平洋までを視野に入れた内容も考えられる。また、コンソーシアムの運営や企画に学生を参加させて、組織管理論の関連科目とすることも考えていく。